

整理 No.	49	分類	津波堆積土砂	
会 社 名	(住友大阪セメントグループ) 株式会社エステック			
担 当 者	高橋 秀夫			
連 絡 先	TEL	06-6556-2058	FAX	06-6556-2069
	E-mail	takahashi@soc-estec.co.jp		
技術の名称	砂締め固め工法への再利用+地盤沈下箇所の復旧			
概 要	津波堆積土砂を有効利用する方法。 地盤改良工法の一つである砂締め固め工法「SDP 工法」の材料として津波堆積土砂を使用する。堤体下の液状化防止などに活用。同工法により地盤が盛り上がることを利用し、地盤沈下箇所に適用、地盤を隆起させ、浸水部の復旧に利用できる。			
技術登録等	特許第 2758129 号、2774449 号 NETIS 登録 KK-980070-A			
技術の概要	1. 基本的な考え方 ・ 津波堆積土砂を砂締め固め工法「SDP 工法」の材料に利用する。 ・ 堤体下地盤の液状化防止などに活用。 ・ 同工法により地盤が盛り上がることを利用し、地盤沈下箇所に適用、地盤を隆起させ、浸水部分の復旧に利用。 2. 対象津波堆積物土砂 ： 砂礫質土砂 3. 本技術を活用するための設備や方法等 (機械設備) 改良材として、 砂の代替として 津波堆積土砂 (砂礫質土砂) を利用 静的な締め固め方法で あり、騒音・振動が 少ない ↓ 周辺環境へ与える影響 が少ない			
次頁 あり				

技術の概要
(つづき)

4. 本技術を活用し、得られた目的物の性状等

4.1 砂地盤への適用

改良された砂杭及び周辺地盤は液状化対策として効果

4.2 粘土質地盤への適用

改良された砂杭及び周辺地盤は支持力増大、すべり対策、圧密排水などに効果

5. 利用先・用途（実績等）

- 空港誘導路、高規格堤防、岸壁背面、埋め立て地、建築物下部地盤の液状化対策
- 護岸背面地盤の円弧すべり対策
- 地盤強度増大

（地盤沈下浸水部への適用案）

